

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市労働報酬等審議会		
事務局 (担当課)		契約課 電話042-769-1391 (直通)		
開催日時		令和6年8月29日(木) 午後3時00分～午後4時35分		
開催場所		相模原市役所第2別館3階 第8会議室		
出席者	委員	6人(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	5人(財政担当部長、契約課長、他3人)		
公開の可否		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input checked="" type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由		市の機関における審議であって、公開することにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が損なわれるおそれがあるため。		
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 相模原市公契約条例の施行状況について (2) 令和7年度労働報酬下限額について【非公開】 3 その他 次回の審議会について		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

会議の公開・非公開について

労働報酬下限額の審議については、公開することにより、率直な意見の交換又は意思決定の中立性が損なわれるおそれがあることから、議題（2）令和7年度労働報酬下限額については、非公開とすることで決定した。

そのため、議題（1）相模原市公契約条例の施行状況についての審議と報告事項をまとめて公開し、その後非公開での審議を行うことで本審議会の議事進行の円滑化を図った。

2 議 題

諮問書について

市から審議会会長へ諮問書を手交した。

（1）相模原市公契約条例の施行状況について

事務局より資料説明の後、質疑応答を行った。

○建設キャリアアップシステムの活用推進を提案する。カードリーダーの設置は低コストであることから、設置する建設業者が増加しており、カードの登録情報に職種の情報もあるため、カードリーダーから読み込んだ情報を基にデータ作成することで労働状況台帳作成の事務の軽減化を図ることができるのではないかと。また、軽作業員の設定額が低いといわれているが、建設キャリアアップシステムの活用をすることで解消すると考えている。(武藤委員)

○カード自体の作成は低コストだが、カードリーダーで読み取るごとに費用が発生するため、事業者側の経済的負担が生じる。また、導入する場合は公共工事、民間工事双方の現場で取り組む必要を感じるため、導入を悩む事業者は少なくない。建設キャリアアップシステムの職種と労働状況台帳の職種がリンクしているのか、確認してみないと言いきれない。(櫻内委員)

○軽作業員は低く設定されている。労働報酬下限額以上の報酬が全ての労働者に適切に支払われているのか個人的に疑問である。組合内で毎年実施されている賃金アンケートは全組合員の3割が回答しており、常用労働者の日額は16,000円から17,000円程度である。従前よりは上昇しているが、公共工事の設計労務単価の9割に比べたらまだ乖離がある。軽作業員の9割

は平均値からいくとクリアできる。建設キャリアアップシステムの活用によって、職種が誤認識されることなく職種通りの賃金が支払われると考えている。(武藤委員)

○公契約条例の中で建設キャリアアップシステムの設置に関して言及するのではなく、ヒアリングも含めた中で精査の必要があるというご意見をいただいた。事務局もヒアリングの中で労働状況台帳の作成の事務負担について真摯に受け止めていると聞いているので今後検討していくと思う。(中屋会長)

(2) 令和7年度労働報酬下限額について

事務局からの資料説明後、質疑応答及び審議を行った。市の機関における審議であって、公開することにより、率直な意見の交換又は意思決定の中立性が損なわれるおそれがあるため、内容は非公開とした。

3 その他

9月に中屋会長から市に答申書を提出することを確認した。
次回の審議会の開催予定について確認した。

4 閉 会

相模原市労働報酬等審議会委員出欠席名簿

氏名	区分	所属等	備考	出欠席
中屋 裕仁	学識経験のある者	神奈川県社会保険労務士会所属 特定社会保険労務士	会長	出席
根岸 小百合	学識経験のある者	神奈川県弁護士会所属 弁護士		出席
川崎 晴彦	労働者団体の代表者	日本労働組合総連合会神奈川県 連合会相模原地域連合議長		出席
武藤 尋晴	労働者団体の代表者	神奈川土建一般労働組合 相模原支部 書記長		出席
草薙 喜義	事業者	相模原商工会議所 3号議員		出席
櫻内 康裕	事業者	相模原商工会議所常議員		出席

(敬称略・区分ごと五十音順)